

全会一致で決算認定

平成22年度に行った主な事業

デマンド型交通運行事業	1225万円
白鷹人育成基金積立	3000万円
戸籍総合システム導入事業	6510万円
しらたか元気っ子事業	1194万円
延長保育事業	1200万円
子宮頸がんワクチン接種費用助成事業	278万円
創意工夫プロジェクト支援事業	971万円
住宅需要拡大促進事業	1628万円
商業活性化促進事業	299万円
道路改良事業(赤坂深山線)	9939万円
道路改良事業(荒砥駅本宿線)	1039万円
四季の郷住宅団地整備事業	7373万円
スクールバス運行管理事業	1699万円
スクールバス車庫新設事業	3023万円
町史編さん基金積立	1400万円



どうなる？ まちの財政力

区分・年度	22年度	21年度	20年度	説明
財政力指数	0.257	0.268	0.274	1.00に近いほど余裕がある。
経常収支比率	88.9	93.2	92.2	70%に収まることが妥当。80%を超えると危険ライン。
自主財源比率	23.8	24.5	26.0	町税、固定資産税など自ら調達できる財源。
公債費比率	11.1	13.1	15.8	20%以上は赤信号。
実質公債費比率	17.0	19.1	21.1	公営企業等も含む。18%以上は起債(借金)に県の許可が必要。

監査意見書

全職員が町民目線で

平成22年度予算は引き続き行財政改革を着実に進めながらも、第5次白鷹町総合計画の総スタートの年として、限られた財源のなかで新規事業も含めて積極的に推進する観点で策定されました。

地方税収入や地方交付税の原資となる国税収入が大幅に減少するなか、緊急雇用対策や緊急経済対策、地域活性化対策など、国、県

との連携のもとに補正予算での対応を積極的に実施して各事業に取り組み、景気の回復に努めるなど努力と苦勞の跡が伺えました。結果として実質収支や単年度収支、実質単年度収支とも黒字となりました。

財政に関しては、交付税前倒し感が不安視されるなか、基金の積み増しをはかり財政の健全化に努めていることは評価されます。

事務委託の随意契約は、起案文書に既決予算、根拠法令と理由、積算根拠または原価計算による見積り、の精査内容を記載し、進捗管理、業務完了届、確認または検査を行い請求書による請求、支払と着実な手続きをされることが望まれます。

今後、全職員が町民目線で温かい心かよう姿勢による業務遂行を特段に期待します。

代表監査委員 小林 泰史
監査委員 遠藤 幸一